



■野生下トキの今期繁殖活動が終了

7月8日、子育て中の最後のペアからひなの巣立ちが確認され、今期の野生下でのトキの繁殖活動は終了しました。今年は、53組のペアのうち25組から53羽のひなが誕生し、そのうち39羽が巣立ちしました。これで生まれたひなの数、巣立ちをした数ともにこれまでの最多となりました。

■第15回トキ放鳥訓練開始

6月23日、9月下旬に予定されている第15回トキ放鳥に向けた訓練が野生復帰ステーション順化ゲージにて開始されました。今回訓練を行うのはオス5羽、メス14羽の計19羽で、空を飛ぶ・えさを探するなど自然下で生きていくための能力を身につけます。

■ご寄付ありがとうございました

6月19日に開催された軽トラ市・牛乳のまんかさ祭にて、トキ環境整備基金への寄付金の贈呈式が行われました。株式会社佐渡乳業様から寄付金の目録とトキパック牛乳が贈呈され、佐渡市からは感謝状とトキの写真パネル、エコバッグやピンバツ

ジなどのトキグッズ一式を記念品として贈呈しました。

このほか、新潟市立亀田西小学校の児童の皆さま、千葉県柏市の平崎将英様からもご寄付をいただきました。

いただいたご芳志はトキ野生復帰のために活用させていただきます。

■トキ交流会館利用停止のお知らせ

トキ交流会館の改修工事にとまな、次の期間の会館の利用を停止します。

利用停止期間
9月7日から12月31日まで

*工事の状況により期間が変更となる場合はあらためてお知らせいたします。
*ビオトープ体験等の受け入れは継続して行います。

◆市役所農林水産課農業政策室
トキ政策係(トキ交流会館内)

☎ 24 | 6040



軽トラ市・牛乳のまんかさ祭 寄付金贈呈式



佐渡ジオパーク

ジオパーク、推進日記

打上げ貝類の妙(夏休み特集)

残暑厳しい8月も中旬を迎え、小学生の皆さんは、そろそろ夏休みの自由課題をどうしようかと考えている頃かと思えます。「標本をつくらうかな」、「研究をやってみようかな」などあれこれと考えが頭に浮かんでいるのではないのでしょうか。

標本をつくるのなら打上げ貝類の標本がおススメです。周りが海に囲まれた佐渡には、砂浜や岩礁など変化に富んだ海岸が身近にあります。海岸の種類が違くと落ちてくる貝類も随分異なってきます。

岩礁の海岸では、巻貝の仲間が目につきます。私たちがよく知っている「シタダミ」、実は「シタダミ」と呼んでいる貝は1種類ではなく、少なくとも4種類以上の貝があります。具体的にはオオコシダカガンガラ、コシダカガンガラ、クボガイ、イシダタミガイなどがあげられます。これらの貝は似ているものの比較しながら注意深く観察すると形や模様

にわずかな違いが見られます。さて、次は砂浜海岸についてです。砂浜をゆっくりと歩きながら貝を探すとよく目にするものは、二枚貝の「赤貝」の仲間です。缶詰でも人気

の赤貝、この仲間も実は、3種類以上に分類することができます。まずはアカガイ(図1)、その他、サルボウガイ(図2)、サトウガイ(図3)など一見同じ貝に見える貝殻ですが微妙な違いがあります。皆さんの左の写真を参考に、縦に入っている筋(放射肋)の数を数えてみてください。その本数の違いに気付くはず

です。シタダミもアカガイもなぜこのような違いが生じたのか詳しい原因ははっきりしませんが、わずかな環境の違いが棲み分けに関係し、形態の変化につながっているのでしょう。児童生徒の皆さん、もし、貝の判別に困ったらジオパーク推進室にご相談ください。



図1



図2



図3

◆教育委員会社会教育課

ジオパーク推進室(両津支所内)

☎ 27 | 4185